

平成26年度

川崎市立中学校 学習状況調査 報告書

川崎市立中学校学習診断テスト
～誤答分析と学習指導上の考察～

平成27年2月

川崎市教育委員会・川崎市立中学校長会

平成26年度

川崎市立中学校
学習状況調査
報告書

川崎市教育委員会・川崎市立中学校長会

はじめに

川崎市教育委員会
教育長 渡邊 直美

教育基本法に示された理念の実現と教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るための基本方針である第2期教育振興計画が示されました。少子・高齢化、グローバル化の進展など多様で変化の激しい社会において、このような社会を生き抜くためには「自立・協働・創造に向けた一人一人主体的な学び」が必要であることが掲げられています。

本市におきましても、平成17年度から「かわさき教育プラン」に基づく教育施策の推進を図ってまいりましたが、今年度は10年目を迎えました。これまでの教育プランの総括を行いながら、「基本目標」のキーワードに「自主・自立」「共生・協働」を掲げ、次期教育プランを策定しているところです。

川崎市立中学校学習状況調査は、教育プランの「学校の教育力を高め、確かな学力を育成する」という重点施策に則り、実施しております。本調査の目的は、学校や教員が教育課程や指導方法の改善を図ること、家庭での学習の在り方を改善すること、教育委員会がそれぞれの学校を効果的・効率的に支援することにあります。

調査は、国語、社会、数学、理科、英語の各教科に関するテストとともに、生活や学習に関するアンケートを実施しておりますが、次期教育プランの基本目標にあわせて、アンケートに「自慢できること」、「将来やってみたいこと」など6つの質問を追加いたしました。自尊感情や将来の夢や希望についてなどで生徒一人一人の意識を把握してまいりたいと考えております。

今年度より、全国学力・学習状況調査につきましては、調査結果を保護者や地域の方々に示し、生徒の学力向上の取組を学校と保護者や地域の方々と一体となって進めております。本調査につきましても、調査結果を積極的に活用し、指導方法や教育課程の改善を十分に図っていただきますようお願いいたします。

結びに、本調査の運営・実施にあたりご尽力いただきました中学校現職教育委員会をはじめとする中学校長会に厚くお礼申し上げます。

平成26年度「川崎市立中学校学習診断テスト」のまとめにあたって

川崎市立中学校長会
会長 渡邊 壽久

学習指導要領では、知識基盤社会を担う子どもたちに、確かな学力、豊かな心、健やかな体からなる「生きる力」を育むことの重要性が示されています。そして、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視することが述べられております。

川崎市立中学校学習診断テストは、昭和43年度に校長会の委託事業として市内の全中学生を対象に始まり、今年度は47回目の実施となります。平成17年度からは、かわさき教育プランに則り、2年生については川崎市立中学校学習状況調査として5教科のテストとともに、生活や学習についてのアンケートもあわせて実施しています。

学習診断テストの目的は、各学校が一人一人の生徒の学力や学習状況を的確に把握し、教育課程の編成や指導方法の検証・改善を図ること、生徒と保護者に学習状況を伝え、家庭での学習習慣の確立に役立てること等があげられております。このような趣旨に則り、5教科のテスト問題につきましては、今まで以上に、思考力・判断力・表現力等を問う内容の問題を工夫しております。各教科の作問委員の皆様には問題作成にあたり、多大なご尽力をいただきました。

本報告書は、5教科に関する調査について出題の趣旨や正答および今後の指導にあたっての留意点をまとめております。また、生活や学習のアンケートによる生徒の学習状況の調査結果と分析を掲載いたしました。各学校におかれましては、本報告書をご活用いただき、自校の結果や分析を行うことで、生徒の教科指導や学習状況の改善等に役立ていただきたいと存じます。

最後になりますが、学習診断テストの実施に際しまして、ご尽力いただきました、川崎市教育委員会、校長会現職教育委員会及び教育研究会の各教科部会、教頭会の皆様には多大な苦勞をおかけしました。心より感謝申し上げます。

目 次

調査の概要

1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の対象	5
4. 調査実施日及び調査対象人数	5
(1) 調査実施日	5
(2) 調査対象人数	5

調査結果の概要

1. 国語	9
誤答分析と学習指導上の考察	9
2. 社会	31
誤答分析と学習指導上の考察	31
3. 数学	51
誤答分析と学習指導上の考察	51
4. 理科	71
誤答分析と学習指導上の考察	71
5. 英語	93
誤答分析と学習指導上の考察	93

生活や学習についてのアンケート

調査の概要	113
調査結果と分析	114
単純集計	114
クロス集計	125
各教科の正答率と相関	133
資料 調査結果集計表	136

問題用紙・解答用紙・アンケート質問紙

国語	145
社会	174
数学	210
理科	229
英語	270
生活や学習についてのアンケート	301

調査の概要

1. 調査の目的

全市的な規模で生徒の学習状況を調査することにより、学習指導上の課題を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、生徒の基礎学力の向上に役立てる。

2. 調査の内容

国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日	平成26年11月11日(火)	
(2) 調査対象人数	中学校第1学年	9,695人
	中学校第2学年	9,279人
	中学校第3学年	9,323人
	生活や学習についてのアンケート	9,249人

Ⅱ 調査結果の概要

